

山武の



普及だより

山武農業事務所

山武農林業振興普及協議会

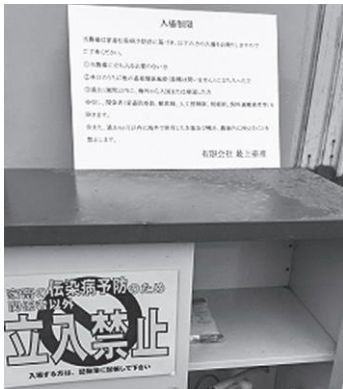
〒283-0006 東金市東新宿 1-1-1

☎ 0475-54-0226 FAX 52-7914

ホームページ <https://www.pref.chiba.lg.jp/ap-sanbu/index.html>



代表取締役の最上晃浩さんと従業員の菅野さん



入場制限の注意喚起

整理が特に大変だったという事です。取り組み開始から3年後の令和2年3月に審査を受け、無事農場 HACCP 認証を取得しました。



JGAP 認証に向けた会議風景

畜産農場を対象とした畜産物の安全性や生産工程の管理に関する認証制度で、平成21年に農林水産省より公表されました。千葉県内の畜産農家でも家畜・畜産物の安全性や家畜衛生の向上に向け、取組を行う農家が増えていきます。

■農場 HACCP 認証とは

横芝光町の(有)最上畜産は、肥育牛約350頭を飼育する肉牛農家です。東京オリンピック・パラリンピックへの食材供給や、将来的には輸出も視野に入れ、JGAP 認証取得を目指すという先代の意思を引き継ぎ、平成29年に農場 HACCP 構築に向けた取組を開始しました。

■認証取得まで

最上さんは関係機関の支援のもと、家畜衛生に関する勉強会に積極的に参加し、農場における改善点の確認から改善の実施まで着々と積み重ねていきました。記録の管理・



審査の様子

■今後の展望

最上さんは、現在、当初の目的であった JGAP 認証取得に向けて取り組んでいます。将来的な目標である輸出を目指す、家畜衛生管理に加えて、労働安全

(有)最上畜産が農場 HACCP 認証を取得

安心安全な畜産物の生産工程管理を目指して

■取り組んだ効果

新たに作成した日報を記録することで、従業員が牛をより良く観察するようになり、病気等の早期発見につながりました。その結果、牛の死亡率が低減し、経営上の成果に結びついています。

また、食肉市場の掲示板には(有)最上畜産の農場 HACCP 認証が掲示されており、今後の市場評価への効果や他の畜産農家への波及が期待されます。

水稲育苗中の 温度管理に注意を

令和2年の育苗は、3月下旬から4月下旬にかけて日照時間が平年よりも長く、高温による「やけ」症状が多くみられました。令和元年の台風15号の被害によりビニール等を張替えた育苗ハウスなどで、換気不足により40℃以上の高温になったことが原因です。ハウスごとの温度を把握し、時期や天候に応じた被覆シート等の資材を使用した上で、高温対策に取り組みましょう。

◆アルミ蒸着シート活用上の注意

近年、利用者が増えてきているアルミ蒸着シート（本州太陽シート等）は、表面がキラキラと反射するアルミシートで、日中の高温防止と夜間の保温効果があります。忙しい育苗時期の換気作業が不要となるので省力的です。

しかし、シート表面にキズが

つく、アルミの層が薄くなるなどすると、反射性能が低下して十分な効果が得られません。ひとシーズンで交換するか、再利用する場合はよく乾燥させてから保管して、翌シーズンはアルミ層の具合を確認してから使用しましょう。

なお、3月に平置き無加温出芽を行う場合は、温度不足となるため、適しません。通常の保温マット等を使用しましょう。

◆温度を正確に測りましょう
ハウス内の温度は、気象条件やビニール・被覆資材の劣化具合によつて変動するので、温度計を設置して、数値に応じて管理します。出芽期は30℃以下、緑化期以降は25℃以下に管理することがポイントです。

温度を正しく測定するには、温度計の位置が重要です。温度計を目線の高さに設置している事例が見えますが、床面より温度が高くなる傾向があります。出芽期は育苗箱の床土に温度計を挿し、緑化期以降は育苗箱の高さに設置して正確な温度を把握できるようにしましょう。

「山武稲作情報」 の送付について

農業事務所では、水稲栽培期間中に全6報で生育情報として、「山武稲作情報」を発行しています。御希望の方には送付しますので御連絡ください。



また、郵便で配信している方について、電子メール又はFAXへの切り替えを進めています。電子メール・FAXをお使いで御希望の方は、左記まで御連絡ください。

▽連絡先
山武農業事務所 改良普及課
TEL 0475 (54) 0226

女性農業者組織の活動に参加しませんか

山武地域の女性農業者組織「サンスマイルー山武農業女子

ネットー」（会員39名）では、女性農業者の経営参画や仲間づくりを目的とした活動を行っています。

令和元年度には、サンスマイルの若手会員の有志からなる学習グループ「ぼっちチェルリーズ」（10名）が誕生しました。サンスマイルでは、多くの女性農業者の参加を募集しています。御希望の方は農業事務所まで御連絡ください。



「ぼっちチェルリーズ」の販売活動の様子

イヌマキのケブカ トラカミキリ対策

▼ケブカトラカミキリとは？

体長約1cmの小型のカミキリムシで、庭木や生垣に使われるイヌマキを食害します。成虫の発生は年1回で、4月から6月にかけて幹から脱出し、すぐに交尾して、樹皮下に産卵します。幼虫は10月頃まで樹皮下を食害し、木の中で成虫となり、越冬します。山武郡市の一部でも被害が確認されています。

▼被害の特徴

- ①木の一部分あるいは全体で葉が黄化し、やがて枯死します。
- ②幹にリング状の隆起が見られます（写真）。
- ③幹や枝に脱出口（直径約4mm）ができます。

▼イヌマキの防除対策

①薬剤防除

成虫が幹から出てくる時期を逃さず防除することが重要です。4月中旬から6月上旬にトレボンMC又はトレボン

EW（ともに2000倍希釈）を2週間おきに2〜3回散布しましょう。

②被害木の伐採・処分

伐採・処分は3月までに行いましょう。伐採後には放置せず、焼却、破碎、又は登録農薬によるくん蒸処理を行い、適切に処分してください。（農薬登録内容は、令和2年12月現在のものです。適用作物はイヌマキに限ります。）



ケブカトラカミキリ成虫



幹に発生したリング状の隆起

（写真提供…農林総合研究センター病理昆虫研究室）

新書虫ツマジロ クサヨトウ対策

▼ツマジロクサヨトウとは？

南北アメリカ原産のヤガ科害虫で、令和元年7月に国内で初めて発生が確認され、令和2年9月には山武地域でも発見されました。80種類以上の作物を害し、千葉県内では主に飼料用トウモロコシで発生が確認されています。卵は毛で覆われた塊状で、幼虫（写真）は成長するにつれて分散します。最大4cm程に成長した幼虫は土中で蛹になります。

▼防除方法は？

対策としては、早期発見、早期防除が重要です。ほ場を定期的に見回り、見つけた場合はただちに薬剤散布を行います。葉の表皮だけを残した筋状の食痕や、生長点付近の食害には注意が必要です。薬剤散布が困難な場合は早期刈取りや、すき込みを行います。耕うんは深さ12cm以上で2回以上行うことで効果

が上がりやす。詳しい情報は農水省HPをご覧ください。

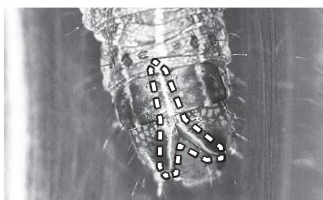
(<https://www.maff.go.jp/j/syoutan/syokubo/keneki/kokunai/tumajiro.html>)

▼防除薬剤(令和3年1月現在)

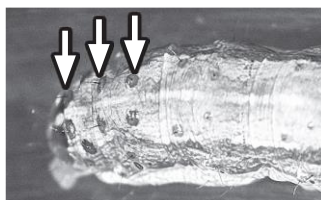
- 飼料用トウモロコシ
- B T 剤（トアロー水和剤CT、エスマルクDF等）、パダンスG水溶性、モスピラン水溶性、スミチオン乳剤
- ソルガム（飼料用）
- モスピラン水溶性、オルトラン水和剤



2 cm以上の幼虫は他種と区別が可能



頭部のY字（点線内）



尾部の黒点（矢印）

令和2年度認証 千葉県農業士紹介

千葉県では、栽培技術・経営管理能力に優れ、また、地域の農業生産活動におけるリーダーとなる意欲的な青年農業者を「農業士」として認証しています。今年度、山武地区からは4名の方が認証されました。

県では、研修等の実施により、能力にさらに磨きをかけていただけるよう支援しています。今後、益々の御活躍に期待します。

○矢部洋一郎氏（東金市）



- ・ 水稲
- ・ 複数の品種を組み合わせて、需要に応じた

米生産を行っています。スマート農業技術をいち早く導入し、コスト低減にも取り組んでいます。



○佐久間浩一氏（大網白里市）



- ・ 水稲、野菜
- ・ 水稲と温室メロンを組み合わせて、高品質な農産物の直売にも取り組んでいます。水稲では、地域の水田の中心的な担い手となっています。

質な農産物の直売にも取り組んでいます。水稲では、地域の水田の中心的な担い手となっています。

○石田 広和氏（芝山町）



- ・ 施設花き
- ・ 球根類にキク等を組み合わせ、切り花

の周年出荷を行っています。常に自己研鑽に努め、切り花産地の担い手として、高く評価されています。

○小川 貴史氏（芝山町）



- ・ 野菜
- ・ 施設と露地の複合経営を行っています。

市場出荷の他にスイカやメロンは直売も行い、顧客ニーズに応じた生産に取り組んでいます。

飼料用米等の推進・農地 中間管理事業のお知らせ

▽飼料用米の取組推進

米の消費量は、全国的に減少傾向にありますが、飼料用米等への取組により、米の需給バランスに基づいた生産を継続していくことが重要です。

そのため、引き続き飼料用米等の取組について、皆様の御理解と御協力をお願いします。

▽農地中間管理事業のお知らせ

農業のリタイアを考えている方、農地の管理に困っている方など農地を貸したい方、また経営規模拡大や新規就農など、農地を集積したい方は、公益社団法人千葉県園芸協会又は市町等に御相談ください。

（公社）千葉県園芸協会

TEL 070(3139)8341
TEL 080(4356)4972

令和3年度 「農業経営体育成 セミナー」の参加 者募集

農業事務所では、新しく農業を始めた皆さんを対象に、農業経営に必要な基礎的・専門的な知識・技術を身につけることと、同世代のネットワークづくりを目的にセミナーを開催しています。対象者は概ね45歳までの新規就農者で、研修期間は令和3年5月から3年間、年7回程度の開催です。是非御参加ください。

▽申込み先

山武農業事務所 改良普及課
TEL 0475(54)0226

事務所移転のお知らせ

山武合同庁舎の建て替えに伴い、令和3年2月22日以降、改良普及課及び企画振興課が左記住所に移転いたします。

改良普及課・東金市田間2-14-2
(山武農業事務所分庁舎)

企画振興課・東金市新宿17-6
(山武農業事務所本所)

*電話番号は変更ありません。